

記入例

様式第2号(第2条関係)

世帯状況調査書

フリガナ 申請者氏名	マツエ タロウ 松江 太郎		申請者 の 在学 状況	国公立 学校名 私立 松江高等学校	学部・学科名 普通科 (3年制) <input checked="" type="checkbox"/> 3年に在学中 (通学方法 <input type="checkbox"/> 自宅・ <input type="checkbox"/> 自宅外) <input type="checkbox"/> 年 月 卒業後、 <input type="checkbox"/> 無職・ <input type="checkbox"/> 就職・ <input type="checkbox"/> 予備校生 <input type="checkbox"/> 貸付けを希望する学校の進学前に通っていた学校等を卒業後5年以上経過している
生年月日	平成18年12月12日	男・女			
申請者住所 (住民票上の住所)	① (〒690-8540) 松江市末次町86番地 電話番号 自宅 (0852) 55 - 5555 【本人】の携帯 (090) 1234 - 5678 ※現住所が住民票上の住所と異なる場合、その住所を記入してください ② (〒 - -)				
連絡先住所 (書類等送付先)	<input checked="" type="checkbox"/> 上記①の住所と同じ <input type="checkbox"/> 上記②の住所と同じ (〒 - -) 日中連絡の取れる電話番号 自宅 (- - - - -) 【母】の携帯 (080 - 5678)				
世帯の状況	続柄	フリガナ 氏名	生年月日	在学状況 (学生の年)	
	父	マツエ キヨウタ 松江 教太	明・大・昭・平・令 48年 3月 3日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】
	母	マツエ イクミ 松江 育美	明・大・昭・平・令 50年 5月 5日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】
	姉	マツエ ショウコ 松江 奨子	明・大・昭・平・令 14年 7月 7日	国公立 私立	小・中・高・高専・ <input checked="" type="checkbox"/> 専修 【校名】 松江大学
	弟	マツエ マナブ 松江 学	明・大・昭・平・令 21年 9月 9日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】 松江中学校
			年 月 日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】
				国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】
			年 月 日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】
特別事情	ひとり親世帯 または養育者世帯	障がいのある人 のいる世帯	長期療養者 (6か月以上) のいる世帯	単身赴任世帯	災害を受けた世帯
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (人)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/> 現在在学の学校 (入学年月 年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 次の学校に進学予定 国公立 学校名 私立 末次大学 学部・学科名 法学部法学科 (4年制) 卒業年度 (貸付終了年度) 11 年度			
奨学金貸付けを 希望する学校		上記の家計状況に相違ありません。 令和 8 年 2 月 27 日 本人 松江 太郎 保 護 者 松江 教太			

令和8年度の在学状況について記入

日中連絡の取れる電話番号を記入する。

世帯員に生徒・学生がいる場合は在学状況を記入する。

令和8年度の在学見込みについて記入

○特別事情に係る提出書類について

(1) 令和8年1月1日現在の状況で、特別事情のある世帯に該当する場合は、該当世帯の□に✓をつけてください。

(2) ✓をつけた場合は、必ず証明書類を添付してください。

※ただし、ひとり親世帯又は養育者世帯の場合は、住民票で確認できますので別の証明書類は不要です。

(3) 障がいのある人のいる世帯は人数も記入してください。

項目	提出する証明書類
「障がいのある人のいる世帯」	①身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の写し（人数分）
「長期療養者（6か月以上）のいる世帯」 ※申請時に6か月以上継続して療養中の人又は療養を必要とする人がいる世帯	①令和7年1月から令和7年12月までの治療若しくは療養にかかった経常的費用の領収書の写し又はその費用の証明書（医療給付を受ける金額を除く。）
「単身赴任世帯」 ※主たる家計支持者が、現在単身赴任している世帯	①単身赴任していることが確認できる書類及び別居のため特別に支出している経費がわかるもの（家賃の証明書の写し、光熱水費の領収書の写し等）
「災害を受けた世帯」 ※令和7年1月から令和7年12月までに受けた火災・風水害などの被害が対象	①罹（り）災証明書の写し ②それまでの家屋に居住できない場合の賃貸費等の領収書の写しや、災害により被害のあった家財で、新たに購入を行った場合の領収書の写し（ただし、生活に必要な限度を超えるものは含まない。） ※保険、損害賠償等によって補てんされた場合は除きます。